

NPO 法人 かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)

# KECA ニュース No.70



雲湧く鳥海山 2018年8月 撮影：保坂 正晴

## ～目 次～

- p.1 1. 新任ご挨拶 理事長；真砂文夫、副理事長；河野健三、近藤 勝養  
理事；中村城治、遠藤裕  
監事；大竹順之、守谷喜芳
- p. 4 2. 【支部の活動報告】 =横浜支部= 環境出前講座；日吉 栄一
- p. 5 3. 【委員会の活動予定】環境教育インストラクター応募資格取得セミナー  
=環境教育委員会= 委員長 岡本正義
4. 故草間 昇氏の追悼文（西湘支部 加藤忠男）
- p. 6 5. 環境保護と切手について（横浜支部 大竹順之）
6. IPCC 第1作業部会 第6次評価報告書を読む
- p. 7 7. 新人紹介；土'谷美智代、寺田仁、浅葉理恵
8. トピックス；JEMASセミナー

## 1. 「新任 ご挨拶」

### 『理事長・眞砂文夫』

この度、河野理事長の後任として就任しました横浜支部の眞砂文夫です。2012年入会以来10年を経過、環境カウンセラー、環境教育インストラクターを取得。2016年から本部組織に参加、河野理事長のもとで、「メーリングリスト」の導入、「個人情報細則の改定」、「KECAホームページの刷新」にかかわり、教育面では「インストラクターセミナー」「市民活動報告会」にて、地元市民とのコミュニティ活動の実践事例の紹介もさせていただいております。

直近の1年では組織基盤強化事業の検討の中で「WEB 部会長として WEB による会員相互の仕組みづくり、広報制作物のさらなる利活用を図り、寄付、募金の申し込みをいただく仕組み、会員・賛助会員をお受けする仕組みづくり、ZOOM 利活用による会員との新たなコミュニケーションの仕組みづくり」をWEB 部会の皆さんとともに進めてまいりました。

この度、ご縁があり、理事長をお受けすることになりました。

理事長をお受けしたからには、皆さんのお力をお借りし、「KECA 内外の連携強化と事業の発展を醸成し、前任理事長が引いてくれた路線に則り、組織基盤事業の強化を図り、近い将来、会員の増強と財政赤字の解消をはかり、楽しく活力ある KECA に変貌させていきたいと思っております」

世の中、まさに「気候危機」といわれる時代、「脱炭素社会」「循環型社会」「分散化社会」の実現と、官民挙げて「SDGs 目標の達成」「地球温暖化防止」に向けて取り組んでいます。

私たち KECA も全力を挙げて、市民の皆さんはもちろんのこと、行政・他関係団体との協働のもと中小企業の経営者の皆さんに寄り添いサポートしてまいりたいと思っております。

また、わたくしの得意分野は営業です。人と会い、コミュニケーションを重ね、経営に革新を図っていただける提案活動を今も続けております。

着任早々ではありますが、KECA 内支部・委員会単位での懇談の場をできるだけ早く持ちたいと思っております。残念ながら、お会いしてお話をさせていただく環境はもうしばらく先の話と思っておりますので、ZOOM を利用して進めたいと思っております。

是非、その機会には組織の抱負・課題・要望等もお聞かせいただけるとありがたく思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### 『副理事長 河野健三』

この度、眞砂新理事長にバトンタッチした河野です。引き続き副理事長として新理事長を支えて参りますのでよろしくお願い申し上げます。私は2005年に入会して以来、会員の皆様、諸先輩から多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。

これからは恩返しの2年と位置づけ2つのことに注力して参ります。

ひとつは「KECA の雰囲気づくり」です。基盤強化グループとして8つのプロジェクトを進める中で



「自由にモノが言える雰囲気づくり」を目指します。

二つ目は環境カウンセラーになる動機となった中小企業の支援です。私は EA21や ISO14001 の認証取得企業が減少傾向にあることを危惧しています。「お客様に喜ばれる EMS とは何か」をテーマに横浜支部長として進めて参ります。併せてよろしく願いいたします。

### 『副理事長 近藤 勝養』

今回、新旧理事長の強い要請により、副理事長兼事務局長になりました近藤 勝養です。

会員的大幅減少やコロナ禍の活動停止により、KECAの存続が危ぶまれています。組織の運用は下り坂が最も厳しいので、少しでも楽しいKECAにすべく、力を尽くしたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力をお願いします。楽しいKECAにするために、仕組みづくりを工夫したいので、知恵があふれた提案をお待ちしております。

### 『理事 中村 城治』

新しく理事に選任された中村城治(ナカムラジョウジ)と申します。部門は「事業者部門」、支部は「湘南支部」で今年から支部長兼任です。「城治」という名前は、父が「これからはアメリカ人と仲良くする時代だ」と、「襄治」にしたかったらしいのですが、区役所の窓口で漢字制限により「城治」に変更したとのこと。おかげで外国ではニックネームが「George 君」に直ぐ決まるので助かっています。皆様も「ジョージ君」と呼んで頂いて結構です。(尤もドイツではゲオルグ君になって困惑しましたが・・・)

それはさて置き、この業界に入ったのは「環境リサイクルプラント」の公共工事の入札資格の、技術士(衛生工学部門 専門技術廃棄物処理)を取得して監理技術者になったのがスタートライン。返す刀で、「環境カウンセラー(事業者部門)」の資格を得て、建機・産機メーカーの販売代理店(殆どが中小企業です)の環境関係等の現場コンプライアンスの拠点巡回指導を実施。北は稚内から南は石垣島まで全国500以上の店舗を訪問して、監査・指導・助言を実施しました。65歳での卒業後は「技術士事務所」を開業。小さな企業Gを構成する中小企業の会社の『現場コンプライアンス問題』を、顧問として指導しています。

会社卒業後に KECA に入会し今年で7年目になります。顧問業務が多忙で、あまり積極的な活動経歴はありませんが、縁があつて理事に立候補しました。

今年から2年間の任期の中で、現役時代に経験した「ビジネスインキュベーション」の知見をベースに、KECA のガバナンスを強化して、会員の起業家精神を啓発し、反転成長へのステアリングが切れれば良いなあと考えています。皆様のご協力を持むところ大です。宜しく願い申し上げます。

### 『理事 遠藤裕』

KECA 入会は2016年11月で横浜支部所属です。支部の EA21G にもオブザーバー参加していました。

経歴は、半導体製造会社、その後廃棄物処理会社で生産技術、公害防止施設技術、環境管理

(ISO14001認証取得、管理責任者)、環境法務等を担当していました。



退職後資格を取得し、現在横浜グリーン行政書士事務所を開業（代表）、許認可申請、環境ビジネス支援、法人設立支援等を主要業務としています。保有資格は、行政書士、環境カウンセラー（事業者部門）、公害防止管理者（大気、水質、騒音、振動）、衛生管理者（1種）、SP 融資コンサルタント（（一社）融資コンサルタント協会認定）等です。



抱負としては、環境省の令和3年度の重点施策である「“3つの移行”（脱炭素社会、循環経済、分散型社会への移行）による持続可能で強靱な経済社会へのリデザイン」の趣旨に添う形で、地域社会、団体等の環境保全活動を支援していきたくと思っています。その一つとして公共、民間の補助金、融資等各種 ESG 資金を活用し、パリ協定、SDGs を目指して取り組みを行う中小規模の組織（団体、会社等）を、コンプライアンス（社会道徳）面を重視して支援する活動を広げ、貢献していきたくと思っています。

### 『監事 大竹 順之』

令和3年度（2021年）の監事を務めます大竹 順之です。2013～2014年度にも、監事を務めています。KECA が抱える問題（管理費の赤字、会員数の減少など）を認識し、昨年度は「よこはま夢ファンド」を活用し、組織の課題の明確化と今後の活動の方向性をまとめました。2021年度はその実行スタートの年になります。真砂新理事長が就任され、KECA の中興を目指すことと期待しております。監事として、その成果をしっかりと見守っていきたくと思います。

### 『監事 守谷喜芳』

今年から監事を担当します守谷です。KECA への入会は、2001年ですので20年になります。現在は環境管理委員会、環境経営委員会、県央支部の活動に参加しています。KECA に参加して、いろいろなことを学んだり、社会貢献も少しできた気がします。これからもよろしくお願い致します。

## 2.【支部の活動報告】

### =横浜支部= 環境出前講座実施報告 日吉栄一

横浜支部環境出前授業を横浜市の図書館で実施しました。横浜市内の図書館が毎年夏休みに行っている小学生向け夏行事の一つで、横浜市温暖化対策統括本部が主催する環境教育出前講座（YES 講座）として行いました。

7月30日（金）に横浜市緑区の緑図書館にて「ペットボトル工作と海の生きもののおはなし」というタイトルで行いました。

昨今海洋プラスチック問題などプラスチックによる汚染が環境問題となっていること、この問題を防ぐために何ができるのかについて子供目線でわかりやすい授業を行いました。後半はリユースの一環として、使い終わったペットボトルを利用して、空気砲や浮沈子を作る工作教室を行いました。小学校1年生から4年生と幅広い年齢の子供たちが夫々喜んでくれ、終了後のアンケートでは全員がとても楽しかったと記載していました。



(協力してくださった大竹様・大野様・千葉様ありがとうございました。)



海の生きものの説明

### 3. 【委員会の活動予定】

**= 環境教育委員会 = 環境教育委員会委員長 岡本正義**

環境教育インストラクター応募資格取得セミナーを12月11日（土）、12日（日）に開催予定

KECA 主催で、横浜市庁舎スペース A・B にて開催予定です。セミナーの特徴は受講者の実践力アップを狙いとしていることです。環境教育に関する座学の他、学校での出前授業や事業者向けの環境教育等の具体的な事例を紹介するとともに受講者に模擬授業を実施して頂きます。

毎年、受講者からは高い評価を頂いております。

今年は、横浜市に脱炭素化を主体とした基調講演をして頂く予定です。環境教育を目指す方は、環境教育インストラクターとしての資格を得る良い機会となります。ぜひ参加を検討して頂きたいと考えています。

連絡先：環境教育委員会 日吉 栄一

e-mail: ehiyo21@we.netyou.jp

(文責 日吉 栄一)



グループ別ワークショップ



模擬授業

### 4. 故草間 昇氏の追悼文（西湘支部 加藤忠男）

草間 昇様が2月に鬼籍に入られました。草間様は、近年まで会社での業務に精進されていた傍らで「かながわ環境カウンセラ協議会」に参加され、西湘支部の一員として会社での経験と知識を生かして地域の環境活動に貢献されて下さいました。

近年は、体調不調とお伺いしており、ご快復をお祈りしておりました。まだご活躍頂きたいと願っ

ておりましたので大変残念です。西湘支部一同 心よりご冥福をお祈りいたします。

## 5. 環境保護と切手について（横浜支部 大竹 順之）

気候変動対策に積極的に取り組むスウェーデンが、豊かな自然を描く切手5種類を2021年1月14日に発行しました。5種類の一枚には、環境活動家 グレタ・トゥーンベリさんが描かれています。おなじみの黄色いレインコートで、ツバメの群れを眺めています。

日本の郵便制度は150年前、明治4年（1871）4月20日に開始されました。郵便切手は、郵便送達料金の前払いの



証書ですが、イベント（国勢調査・大阪万博等）や景勝地（国立公園・世界遺産等）をデザインして、国の広報の役割も担う特殊切手を発行してきました。しかし残念ながら、環境保護を訴える切手が見られません。自然保護や自然との共生をテーマにした切手（絶滅が危惧される哺乳類・鳥類・魚類・昆虫・植物などを描いている）を発行していますが、米国切手のような「SAVE OUR SOIL、SAVE OUR AIR」などの直接環境保護を訴える切手は、発行されていません。しかし、第二次世界大戦時に荒廃した森林の回復を図る「国土緑化」運動をPRする切手は、昭和23年（1948）以来、毎年発行されています。

地球温暖化防止や廃棄物削減など、国民に協力を求めるキャンペーン切手の発行を期待しています。

## 6. IPCC 第1作業部会 第6次評価報告書を読む

### （1）国立環境研究所 地球システム領域 副領域長

東京大学 総合文化研究科 客員教授、総合地球環境学研究所 客員教授 江守正多氏  
「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない。大気、海洋、雪氷圏及び生物圏において、広範囲かつ急速な変化が現れている。」

- A.気候の現状、B.将来ありうる気候、C.リスク評価と地域適応のための気候情報
- D.気候変動の抑制

### （2）IPCC 第6次評価報告書第1作業部会「政策決定者向け要約」

WWF ジャパン 小西雅子

リンク先：<https://www.can-japan.org/events-ja/2892>

## 7. 新入会員紹介

### ～～ 新入会員 <自己紹介> 土谷美智代

地球温暖化防止活動推進員として20年以上活動しています。これまで県内の小中高での環境授業や自治体主催の環境講座など、さまざまな場所で講師を務めてきました。専攻は地理学です。大学受験の指導をしており、なぜそうなるのか、どうしてそれが起きるのか、地理は事象の法則性や因果関係を考えながら学ぶことが肝要と伝えています。環境講座でも、一方的に教えるのではなく、受講者との対話を大切に、彼らが主体的に考え、自らのこととして地球温暖化問題に取り組んでもらえるよう努めてきました。とは言え、まだまだ改善の余地がありそうです。環境教育委員会に入れていただいたのを機に、“伝える技術”に磨きをかけたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

～～  

### ～～ 新入会員 <自己紹介> 寺田 仁

1月にE A 2 1 審査員補を取得できましたので、入会をお願いさせていただきました。よろしく願いいたします。入会以前も、環境教育インストラクターや化学物質リスクアセスメントの講習や相模原支部の自然観察会などに参加させていただいておりました。経歴としては、日本電気の環境関連部門に計21年間在席。深くかかわった分野としては製品含有化学物質、京都議定書対応規制、環境ISOが有ります。近年、機会ある時に配慮しているのは有効性です。所属させていただいたのは、相模原支部、環境管理委員会になります。よろしく願いいたします。

～～  

### ～～ 新入会員 <自己紹介> 浅葉理恵

初めまして。横須賀支部、環境教育委員会に入会しました。横須賀の小学校教員をしつつ、ライフワークとしてビオトープからスタートし、米づくりの市民団体を主宰してきました。協働や体験活動が重要とされながら、現在の学校教育はICT、外国語、キャリアなどぎゅうぎゅう詰めで、こどもも先生も自由に身動きができなくなっています。学校教育のシステムとSDGsの両方を知る強みで、「たのしく」「こどもがみらいをつくる」教育が構築できないか、研究しています。平日は活動できませんが、オンラインでの協議や紙面への参加など、できることで貢献していきたいです。

～～  

## 8. トピックス

JEMAS 2021年9月セミナー ～新型コロナウイルスとワクチンの最前線を読み解く～

日 時： 2021年(令和3)年9月4日(土)14:00～16:00

主 催：NPO法人日本環境管理監査人協会 (JEMAS)

申し込み：以下の事項を記入し、メールにて送付ください。

申し込み期限は8月29日24時。

セミナー申し込み先 ; E-メール : [fukoyama@east.cts.ne.jp](mailto:fukoyama@east.cts.ne.jp) 参加費は無料

## 【会員募集中】

当会は、中小企業の環境活動支援、地域の小学校等への環境出前授業、行政等と協働する市民環境活動を展開しております。環境活動に興味のある方、私たちと一緒に活動して頂ける方を募集しております。当会の活動内容は、ホームページをご覧ください。当会には、支部、委員会がありますので、仲間と共に興味に沿った活動ができます。これまで培った経験、知識を是非生かしてください。

### 【編集後記】

本70号には、新役員体制での役員紹介、及び支部活動報告、環境教育委員会活動予定、故草間昇氏の追悼文、投稿文（環境保護と切手について）、環境情報（IPCC 第1作業部会第6次評価報告書に関するセミナー）、新人紹介を掲載しました。

新型コロナウイルス禍の緊急事態宣言の中、活動は制限されますが、かけがえのない地球を未来の世代に受け渡すために、今まで以上に情報発信をして活動することが求められています。（千葉）

表紙画像について；鳥海山も例外に漏れず“高山植物の群生地が、笹藪に負けて年々痩せ細って来ている”と感じました。温暖化の影響でしょうね。（保坂氏より）

〔発行〕特定非営利活動法人

かながわ環境カウンセラー協議会（KECA）

理事長：真砂丈夫 / 編集人：千葉雅子

◇住所：〒231-0001 横浜市中区新港2-2-1  
横浜ワールドポーターズ6階 NPO スクエア内

◇電話：045-226-5822 FAX：045-226-5825

◇E-メール：37keca@kke.biglobe.ne.jp

◇URL：https://keca-kanagawa.jimdo.com/